



# NPO 法人船橋福祉相談協議会主催シンポジウム 『高齢を迎えた障がいのある人の生活を考える』 ～障害福祉サービスの現場から～

令和 7 年 11 月 28 日(金曜日) 13:30～16:30(開場 13:10)

場所: 船橋市中央公民館 6 階講堂

## 第 1 部



### 発題者

- ・(社福) 千葉県福祉援護会 ローゼンヴィラ藤原 施設長  
鈴木 章浩 氏
- ・(社福) ロザリオの聖母会 ナザレの家 所長  
荒井 隆一 氏
- ・(社福) さざんか会 北総育成園 施設長  
白樫 久子 氏
- ・船橋市介護支援専門員協議会 理事  
三山・田喜野井地域包括支援センター 主任介護支援専門員  
加藤 敬信 氏

## 第 2 部



### 意見交換

テーマ: 「高齢を迎えた障がいのある人の生活を考える  
～障害福祉サービスの現場から～」

65 歳になったら障害福祉サービスから介護保険のサービスへ。障がいの有無にかかわらず、皆保険下原則はそうなっていますが、実際は一律に判断できません。障害福祉にかかる制度と高齢者の介護にかかるそれとは、そもそもその目指す理念なりが相違しています。65 歳になった障がい者がどのようなサービスを利用して暮らすのかは、本人の意思や行政の判断により決まることが多いようです。年齢をもって、その利用する制度を変更することには無理があると思います。

それでは、高齢を迎え生活全般により一層の介護なりが要される障がいのある人は現行サービスをどのように利用しているのでしょうか。今回は、高齢の方が利用する施設の現場はじめ、その人たちを支える立場の方から報告を受け、それこそ「親なきあと」も安心して過ごせる障害福祉サービスのあり方を考えてみたいと思います。

【主催】NPO 法人船橋福祉相談協議会  
【共催】船橋市障害福祉施設連絡協議会・  
船橋障害者相談支援事業所連絡協議会  
【後援】船橋市・船橋市社会福祉協議会・  
船橋障がい者地域福祉連絡会・  
船橋市障害福祉団体連絡協議会・  
船橋市グループホーム連絡協議会・  
船橋市放課後等デイサービス事業所協議会

【申込方法】要申込／参加無料／定員 100 名

URL <https://forms.gle/sSkf1s4L5Sk7GRw86>

又は、右記 QR コードよりお申し込み  
フォームにてお申し込みください。

※メール、FAX でお申し込みの場合、  
氏名(ふりがな)、所属先名、連絡先  
をお知らせください。

(申込用紙をご利用ください)

申込期限: 令和 7 年 11 月 20 日

問合せ: ふらっと船橋 <担当 清水・正木>

TEL: 047-495-6777 FAX: 047-495-6776

MAIL: flat-funabashi@key.ocn.ne.jp

